

石 二 小 だ よ り

第21号 平成28年7月5日(火)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724 【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fka.ed.jp/?page_id=145

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

放射線を正しく理解するために

6月29日(水)には、東北大学の馬場先生や南相馬市健康づくり課の佐藤さん、除染情報プラザの皆さんが来校され、各学年単位で放射線に関する授業を行いました。そのうち3年生では、ベクレルとシーベルトの違いや、内部被ばくと外部被ばく、自然界にある様々な放射線、放射線の人体への影響などについて教えていただきました。また、簡易な霧箱を使って、放射線が通った跡を一人ずつ見てみました。



日本では、東日本よりも西日本の方が放射線量が高いこと、日本人は食物から1年間に約1ミリシーベルトを体内に取り入れていることなども教わりました。放射線はもともと身の回りにあるもので、医療などの面でも有効に利用されています。現在の放射線量は心配しなくてもよいレベルですが、念のため線量の高そうな場所は避け、バランスよく食べて運動をすることが大切だというお話もありました。

跳び箱が上手になるコツは？



6月29日(水)・30日(木)には、相双教育事務所から小学校体育専門アドバイザーの梶田先生が来校され、各学年で跳び箱の跳び方について教えていただきました。このうち4年生では、全員で準備体操をした後、かかえ込み跳びの練習をしました。それぞれ自分が跳べそうな高さの跳び箱を使って、何度も練習をしました。梶田先生からは、助走の仕方やジャンプ(踏み切り)のタイミング、手の付き方や位置、足の曲げ方などを一人一人にアドバイスしていただきました。上手にできるようになった児童は、だんだん跳び箱を高くしたり、できるだけ遠くへ着地したりできるように練習しました。跳び箱は、苦手意識を持つ児童も少なくありません。梶田先生に教わったことを、今後の学習に生かしていきましょう。

《裏面もご覧ください》

授業参観ありがとうございました

1日（金）には、授業参観を行いました。お忙しい中、たくさんの保護者の皆さんにお越しいただきありがとうございました。それぞれの学級（学年）で、お子さんの成長の様子が伺えたでしょうか。1年生も学校での生活に慣れ、1時間の授業に集中できるようになってきました。参観後には、1学期の反省や夏休み中の過ごし方を中心にして懇談会が行われました。しっかりと1学期の学習内容を身に付けるとともに、特に夏休みは、交通事故とともに水の事故や火の事故などにも気を付けなければなりません。また、警察署や教育委員会などから不審者の情報も時折寄せられます。事故や事件、けが、病気には十分注意して規則正しい生活を送り、楽しく充実した夏休みになることを願っています。

